



## コードブルー<sup>※1</sup>とは異なる



# 院内救急対応システム（RRS） ご存知ですか？

※1：患者が急変した際に、院内放送などで人員を参集し、対応するシステム

## 院内救急対応システム（RRS） 普及・導入支援サービスのご案内

### 院内救急対応システム （RRS）

# Rapid Response System

患者の状態が通常と異なる場合に、現場の看護師等が定められた基準<sup>※2</sup>に基づき、直接、専門チームに連絡し早期に介入・治療を行うことで、ショックや心停止といった致死性の高い急変に至ることを防ぐシステムです。

「コードブルー」とは異なり、  
RRSは先手を打つシステムです。

#### Code Blueの流れ（例）

- ① 急変患者の発見
- ↓
- ② 主治医へ連絡
- ↓
- ③ コードブルー発動
- ↓
- ④ 応援集結
- ↓
- ⑤ ICU入室など

#### RRSの流れ（例）

- ① 状態が通常と異なる患者を発見<sup>※2</sup>
- ↓
- ② 専門チームに連絡
- ↓
- ③ 治療開始

※2：定められた基準（バイタルサインの具体的な数値など分かりやすく示されたもの）に基づき観察するため、誰でも統一された判断が可能

## 背景

### 米国

- 全国的なキャンペーンにおいて、3,000以上の病院においてRRSが導入され、一部の病院では院内心停止率が15%減少しました。
- 「American Heart Association（AHA）心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドラインアップデート 2015」にてRRSの導入が推奨されています。

### 国内

- 医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”が掲げる行動目標のうち、「急変時の迅速対応」を達成する手段の1つとして推奨されています。
- JCI（Joint Commission International）の認証基準に含まれています。

そのため、日本においても  
RRSを導入する医療機関が増えてきています。

サービス内容の詳細については裏面をご覧ください。

# 普及・導入支援サービスの概要

- 本サービスは国内初の体系化したプログラムで、基礎から、導入、実践に至るまで医療機関の準備状況に応じて提供する当社独自のサービスです。

- このRRSを導入することで、院内心停止率の低下や入院日数の削減だけでなく医療安全管理レベルの向上が図れます。

講師：聖マリアンナ医科大学救急医学集中治療部 教授 藤谷 茂樹氏 他  
協賛：レールダルメディカルジャパン株式会社

| コース                    | ①RRS基礎セミナー   | ②RRS導入セミナー<br>(基礎)   | ③RRS導入セミナー<br>(実践)  |
|------------------------|--|--|---|
| 形式                     | 講義   | 講義+シミュレーション  | 講義+シミュレーション   |
| 所要時間                   | 60分  | 120分   | 2~3時間   |
| 料金(消費税<br>込、交通費<br>別途) | 165,000円   | 330,000円*  | 440,000円*   |
| 対象                     | RRSについて興味のある施設   | RRS導入予定の施設   | RRS導入直前・導入後の施設  |
| コンセプト                  | RRSの概論を理解し、医療安全の「軸」としてのRRSのメリットを学ぶ   | 座学コースに加えて実例から導入時の問題点を理解する、またシミュレーション教育の実際も学ぶ   | RRSの質向上のための方法や他施設の取り組みを理解する、またシミュレーション教育やRRS症例のデータ解析から医療安全文化を向上する方法についても学ぶ  |
| プログラム                  | 1.院内急変対応とは<br>(RRSとコードブルーとの相違)<br>2.RRS導入のメリット <ul style="list-style-type: none"> <li>・気づきと早期対応の重要性</li> <li>・データ解析から問題の抽出</li> <li>・医療安全の文化構築</li> </ul> 3.RRS導入した病院の運用例<br>4.導入における問題点 | 1.病院内システムとしてのRRSとは<br>2.導入における必要な準備<br>(部署、起動システム、チーム等)<br>3.RRS運用病院の実例<br>(多様性の認識)<br>4.指導者育成のためのシミュレーション<br>5.各施設における質疑・応答 | 1.RRSの最新エビデンス<br>2.RRS導入施設の取り組み<br>3.RRSの質向上のためのシミュレーション教育の実際<br>4.新職員向けのシミュレーション教育<br>5.RRSデータ解析による問題点抽出の方法とその対策の立て方 |

\*：料金は、講師1名+アシスタント1名+シミュレーション専門スタッフ1名派遣費用になります。事前ヒアリングにより、シミュレーション教育内容に適した資器材準備をサポートさせていただきます。使用器材内容により価格が変更になる事がございます。

## Q&A



### Q.1 国内におけるRRSの導入・定着状況は？

A.1 「コードブルー」や「BLS（一次救命）」、「ACLS（二次救命）」は、起きてしまった重篤な症状に対応することを目的とし、多くの病院で実施されていますが、緊急事態を未然に防ぐシステムである「RRS」を導入し、定着させている病院は、まだ多くありません。しかし今後注目されることが予想されます。

### Q.2 対象となる病院の規模はどのようなものですか？

A.2 特に制限はありませんが、概ね300床以上の急性期病院が実際に導入をしています。

## 【お問合せ先】

SOMPOリスクマネジメント株式会社  
医療・介護コンサルティング部  
TEL：03-3349-3501 e-mail：hrm@sompo-rc.co.jp